

第2号議案説明資料

第17次3ヵ年計画（令和8年度～令和10年度）

— 第16次3ヵ年（令和5年度～令和7年度）の情勢 —

令和5年度は、新型コロナウイルスが感染法上5類となり、コロナ禍を脱しましたが、ロシアのウクライナ侵攻等に起因した経済の混乱は続き、燃料や資材などの高騰はさらに進みました。また、円安も重なってインバウンドによる外食需要が過熱し、令和6年度には、令和の米騒動と呼ばれた深刻な米不足と米価高騰の発生により、JAを取り巻く米の情勢が大きく変化しました。令和7年度には、全国的に過去に類を見ない猛暑となり、管内の米の1等比率が軒並み低下するなど、気候変動に対応した品種転換の必要性や、米流通の変化によるJAへの出荷の減少等が課題として認識されました。金融面では、令和6年度の下期からマイナス金利政策が見直され、市場金利が上昇基調に転じたことで金利競争が加速しました。こうした中、金利競争だけではなくJAらしい付加価値の提供についての重要性が高まりました。

— 第16次3ヵ年の主な取り組み —

夢のある地域農業づくりでは、主要な農産物である米の高温耐性品種への転換を進めるとともに、園芸振興では、水口かんぴょうがGI登録認定を受けるなど、伝統野菜の継承と販売促進に取り組みました。また、需要が高く小規模な農地で生産・販売が可能なスナップエンドウを重点品目に追加し、営農指導員が中心となり栽培塾を開講するなど、需要に応じた園芸振興に取り組みました。担い手づくりでは、令和5年度に農業サービス事業体のプロジェクト会議を設置して検討を開始しました。令和6年度には、地域計画の策定状況を充分にふまえて事業の方向性を定めることが重要として、スケジュールを見直した上で、令和7年度の地区別運営委員会において、地域計画の確認や農業サービス事業体の基本的な方向性の提示を行いました。



主な取り組み	令和5年度	令和6年度	令和7年度
米の高温耐性品種(みずかがみ等)の作付面積	782ha	741ha	821ha
水口かんぴょうのGI登録・生産者数	GI認定	16人	16人・1集落
スナップエンドウの生産者数と面積	—	16戸・14a	36戸・40a
農業サービス事業体の検討	プロジェクト設置	検討	事業の方向性提示
広域育苗施設の再編整備	企画策定	計画・申請	新施設稼働

心豊かで安心して暮らせる地域づくりでは、支所の窓口処理の迅速化に向けて全支所に営業店システム(※1)を導入しました。また、JAネットバンクやJAバンクアプリの普及によって、営業時間外や非対面での金融取引のツールとして利用者の利便性を高めました。農業関連の資金需要に対しては、農業融資専任職員を設置して多様化する資金ニーズに対応しました。



主な取り組み	令和5年度	令和6年度	令和7年度
全支所への営業店システムの導入	導入計画の策定	設備導入	伝票レス取引開始
JAネットバンク新規契約件数	年467件	年577件	年1,087件
JAバンクアプリ新規登録件数	年538件	年664件	年561件
相続資産等の相談件数	年241件	年273件	年310件
農業関連融資の年間新規実行額	1億8,570万円	3億2,644万円	3億5,944万円

(※1) 営業店システムとは、窓口取引に係るタブレット端末の活用により伝票レスや印鑑レス等、事務処理の効率化による待ち時間の短縮等を目的としたシステムです。



元氣なJAづくりでは、組織活動を活性化することで組合員のみなさまとJAの距離を縮めるため、令和5年度に教育文化事業部を設置しました。組合員組織や利用者組織活動の魅力向上のため、接点活動や情報発信を強化し、令和8年2月にはこうした活動が評価され第76回「家の光文化賞」(※2)を受賞しました。また、令和6年度には合併30周年記念事業を実施し、多くの組合員のご利用をいただきました。さらに、デジタル化による業務改善として、ペーパーレスや手作業の削減等に取り組みました。

主な取り組み	令和5年度	令和6年度	令和7年度
組合員新規加入者数	年595人	年743人	年690人
LINE会員登録者数	2,135人	3,300人	5,762人
甲賀のゆめ丸ポイント会員数	28,082人	29,268人	30,178人
資材等申込書の入力作業の省力化(OCR・RPA)	試行作業	導入	運用継続

(※2) 家の光文化賞とは、全国494JAの中から、協同組合の本質である組合員や地域住民との関係性強化とJAファンづくりなどの教育文化活動を通して、経営の健全性や効果的な事業実践が評価されたJAに与えられる賞です。

— 第17次3カ年計画の策定にあたって —

第17次3カ年計画では、第16次3カ年計画の取り組み状況と課題をふまえ、甲賀市並びに湖南市の農業とJAを取り巻く環境変化に対応し、当組合の3つのビジョンである、夢のある地域農業づくり、心豊かで安心して暮らせる地域づくり、元気なJAづくりに向かって事業と組織活動のさらなる魅力向上に取り組みます。

そのため、組合員のみなさまとの対話を通じて自己改革の取り組みの評価を把握し、次の取り組みに繋げることで、総合事業を基本とした不断の自己改革を実践します。

【★印の項目は新たな取組計画です】

1. 夢のある地域農業づくり

近年の農業情勢は、気候変動や国際情勢の影響による生産コストの上昇、農業従事者の高齢化と担い手不足、さらには消費者ニーズの多様化など、かつてない変化と多様な課題に直面しています。こうした状況を受け、政府は農業経営基盤強化促進法の改正やみどりの食料システム戦略など、経営の効率化、食料安全保障の強化や環境負荷低減を柱とした農政の転換を進めており、持続可能で競争力のある農業の実現に向けて、今まさに大きな変革期を迎えています。



管内においても、約7割を占める中山間地域では、条件不利地により、労力の増加に係る負担が大きいのばかり、多くの集落において近い将来、担い手が急激に減少するといった深刻な担い手不足が見込まれています。

また、高温等により主産品である米の品質が低下するなど気候変動の影響を大きく受けています。一方、園芸では、重点品目や果樹等で新たな生産者の定着もあり、これまで中心としていた生産指導の取り組みについて、より専門性の高い指導体制の実践と、新たな販売戦略の策定等が必要となっています。

第17次3カ年は、地域農業の変革期であることを認識し、これまでの多様な農業者に対応した選択制のある農業メニューづくりを継続しつつも、特に、**管内の滋賀羽二重糯の特産化や園芸品のブランド力向上（販売力強化）**に向けた取り組みと、農業者の減少を見据えた**担い手づくり**の取り組みを柱とします。さらに、**気候変動に対応した新たな米品種の推進**や、省力化に向けた**ドローン防除の拡大**等、環境変化に対応した農業を推進します。

1. 管内農産物の特産化に向けた取り組みの強化

(1) 滋賀羽二重糯の特産化に取り組めます。

管内で生産されている滋賀羽二重糯は、県内でも需要が高く、令和7年産においては生産量が不足している状況です。また、令和7年産うるち米の価格高騰により販売価格の差は縮小したとはいえ、糯米の販売価格はうるち米と比較して高い水準です。このため、持続可能な地域農業を進めていく上で、生産者の農業所得向上への取り組みの一つとして滋賀羽二重糯のさらなる特産化に向けた生産拡大に取り組めます。あわせて、生産者のうるち米とのコンタミ防止にかかる手間等を削減するため、糯米専用の乾燥調製施設の整備を進めます。

重点指標	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
滋賀羽二重糯の複数年契約数量	袋	7,106	7,300	7,500	7,700
★ 産地ブランド化に向けたJAこうか産地表示の協力取引先数	先	—	1	2	3

(2) 茶・野菜・果樹・花卉等の地域ブランド力向上に取り組めます。

野菜や果樹等の生産者と連携した契約指導員制度の構築により、新たな生産者への実践的な生産指導に取り組めます。これにより職員の力を生産指導だけでなく販売力の強化へシフトしていくことで地域ブランド力を高めます。

重点指標	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
★ 契約指導員制度の構築（トレーニングファーム（仮称）の設置）	—	—	制度設計 (ブドウ・梨)	2カ所設置	運用・検証
★ トレーニングファームからの新規生産者数	戸	—	—	—	2 (ブドウ) 2 (梨)
★ 茶・野菜・果樹の加工品開発と販売	—	—	調査・企画	試作・開発	商品化
★ 園芸特産品・加工品の新規取引先数	件/年	—	3	3	3

2. 担い手づくりの取り組みの促進

(1) 農業サービス事業体(※3)の設立準備室を設置し、事業化に取り組めます。

令和7年度に開催した地区別運営委員会のグループワークでご意見をいただいた地域計画の実態や課題では、中山間地域を中心とした担い手不足や農作業の労力負担の増加により、集落内の農業者だけでは地域農業を維持していくことが困難になることも見込まれます。このため、農業サービス事業体の設立準備室を設置し、地域農業は地域で守るを基本として地域の農業者だけでなく地域住民とも連携した上で、農作業支援や土地利用型の新規就農者の育成等、スマート農業を駆使した様々な農業関連サービスの事業化に取り組めます。

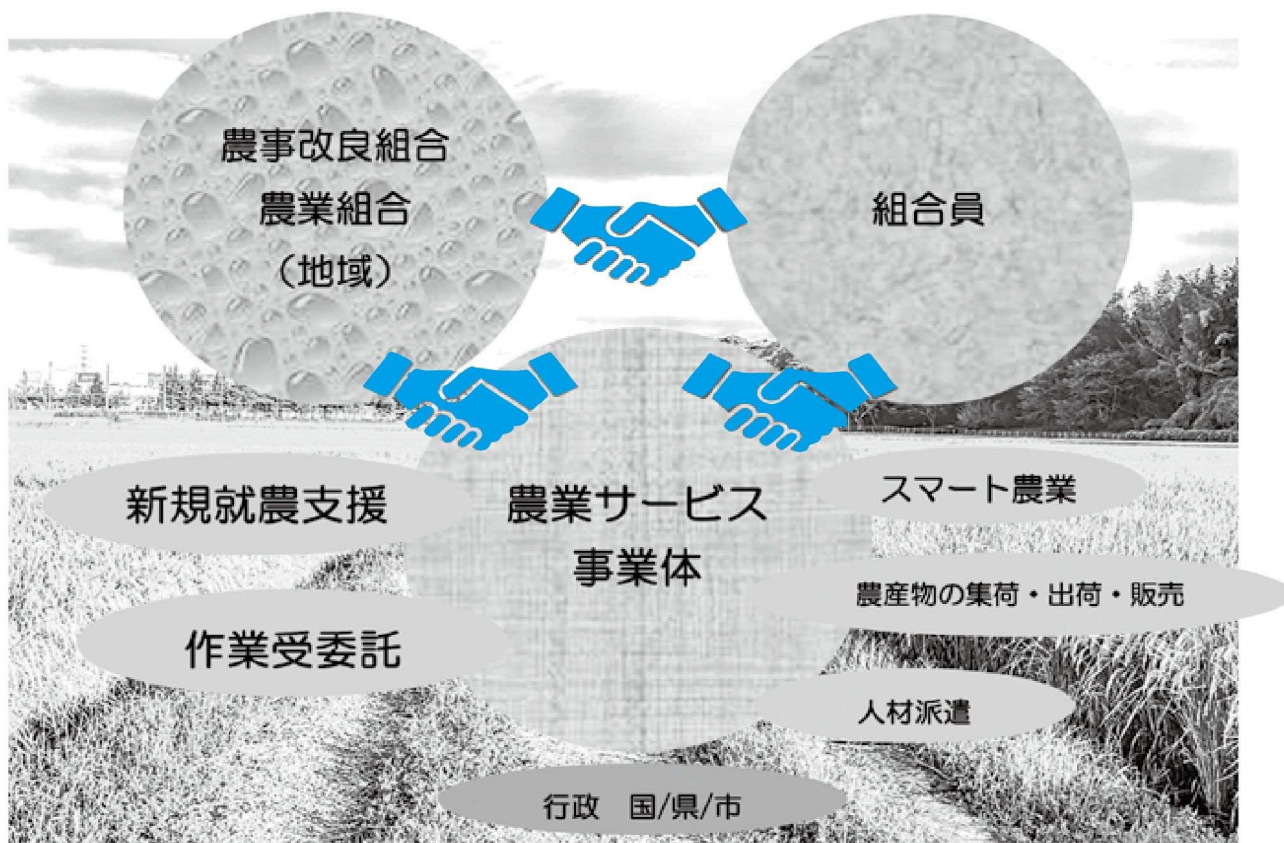
(※3) 農業サービス事業体とは、持続可能な地域農業の実現のため、集落(地域)単位などでの農作業支援(人材派遣含む)、中山間地域等の農地保全、土地利用型の新規就農者の育成、JAの共同利用施設の運営受託等、地域で必要とされる農業関連サービスを提供する事業体です。

①地域農業の課題（令和7年12月第1回地区別運営委員会の意見集約より）

項目	内容
後継者不足	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎化の進行と農業者の高齢化により離農が顕著 ・企業の定年延長や雇用延長による人材不足
不利地農地	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間の未整備田や急傾斜による法面の草刈り等で作業効率の低下
農業機械更新	<ul style="list-style-type: none"> ・農業機械の高騰により、更新時に離農を選択
獣害被害	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地の増加 ・平野部における河川敷からの侵入増加
農業インフラ整備	<ul style="list-style-type: none"> ・農地整備、畦畔整備（区画整理、耕作条件の改善、換地計画） ・農業水利施設の整備（幹線水路、パイプライン化、IoT※4水管理）
農事改良組合 農業組合	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者の減少に伴い、組織の求心力低下 ・組織の活動、維持が困難
行政の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域計画の随時更新 ・人的物資の支援強化（人・物・金）

（※4）IoTは、インターネットを活用し、機器やセンサーをインターネットに接続してデータを収集・共有・制御する技術のことを指します。これにより、手動で行っていた操作や監視が自動化され、効率化や利便性の向上に繋がります。ICTは、情報を扱う技術と通信技術を組み合わせた概念です。インターネット、クラウドサービス、データベース、通信ネットワークなどが含まれ、ICTを活用することで業務の効率化や生産性向上を図ることができます。

②JAこうか農業サービス事業体（土地利用型）のイメージ



③事業内容のイメージ

事業イメージ	内 容
作業受委託	①機械作業を中心とした耕起・田植・収穫などの作業 ②ドローンによる防除、施肥散布の作業 等
新規就農支援 (土地利用型)	①新規就農者のトレーニング機能 ②トレーニングセンター・ICT(※4)による未経験者の圃場管理サポート ③独立を目指した農地の貸借等の就農後サポート 等

※事業化について検討を進めるため、現状で上記の全てを実施する想定ではありません。

(2)集落の次世代担い手による組織活動への参加を促進します。

集落の営農法人が地域農業を担っている集落では、法人の次世代役員となる人材の育成が持続的な地域農業に不可欠です。このため、地域営農組織次世代部会への各法人からの参加を促進することで、法人の担い手同士の横のつながりや、様々な経営情報の共有を強化します。

重点指標	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
★ 地域営農組織次世代部会への集落営農法人の参加数	法人	21	24	27	30

3. 環境変化に対応した農業の推進

(1)高温等の環境変化に対応した選択制のある米づくりを推進します。

気候変動による米の品質低下への対策や、農政の柱の一つである環境負荷軽減に向けた米づくりの促進に向け、「滋賀82号」等の高温耐性品種への転換とともに、滋賀県が推奨する「きらみずき」の取り組みなど選択制のある米づくりを進めます。また、流通形態の変化による米価の不安定化に対し、実需者との販売契約並びに生産者との出荷契約の両方について、複数年契約の締結を進め、価格の安定化に向けた仕組みづくりに取り組みます。

重点指標	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
★ 「滋賀82号」の実証圃場の設置と生産拡大	戸	—	2	20	80
「きらみずき」の生産面積	ha	16.7	18.5	19.5	20.5
★ 分施による品質向上の実証圃場設置	戸	—	3	6	分施栽培方法の 確立

(2)省力化に対応したドローン防除の拡大や生産管理のIT化に取り組みます。

中山間地を中心としたドローン防除の拡大と防除資材や施肥資材の取り扱いの促進、栽培管理や生産指導のIT化を進めるなど、農業の省力化に向けた環境変化に対応します。

重点指標	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
ドローン防除試験の実施集落数	集落	1	3	6	本格取組開始
★ 衛星による栽培管理システム（ザルビオ）の実証圃場の設置	戸	—	1	3	5

II. 心豊かで安心して暮らせる地域づくり

全国的に少子高齢化が進む中、当組合の組合員も70歳以上が過半数を占める状況となっています。今後、組合員の金融資産だけでなく農地や農業資産等の相続に関する相談や、困りごとの増加が見込まれます。また、金融サービス面では、デジタル化によるスマホアプリやネットバンキングの取引拡大が進み、次世代層が利用しやすい仕組みや特典を整備・提供していくことや、金利だけではなくJAらしい特色ある付加価値を提供していくことが求められています。

こうした情勢から、第17次3カ年では、相続等の相談機能の強化として**事業間の連携による総合的なサポート体制の構築**や、次世代層を中心とした**デジタル化へのニーズに応えるためのサービス提供**に取り組めます。また、地域の総合JAとして**地域密着型の利用者組織活動**を展開します。



1. JAらしい総合的なサポート機能の強化

(1) 相続相談や資産活用相談等の増加を見据え、事業間の連携によるトータルサポート体制づくりに取り組めます。

JAの総合事業の強みを活かし、金融・葬祭・資産相談等の各担当者が連携した相続等相談対応の仕組みの構築や利用者向けツールの作成に取り組めます。あわせて相続相談員の育成を継続的に進め、組合員・利用者の多様な相続や資産活用等に関するニーズに総合的かつきめ細やかに対応します。

重点指標	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
★ 事業間連携によるサポート体制の構築	—	—	検討チーム設置	体制整備	運用・検証
★ 利用者向け資料（相続相談マニュアル等）の企画・作成	—	—	検討チーム設置	資料提供	運用・検証
相続相談員研修受講修了者数	人	21	31	41	51

(2) 農業関連の資金需要やリスクへの備え等に係る対応を強化します。

農業経営においては、農産物の生産・販売管理だけでなく、経営に係る投資や資金繰り、事故や災害への備え等、幅広い対応が求められます。農業融資専任担当者や各支所の渉外担当者や営農指導員による定期的な農家訪問の体制を整備し、情報提供と相談対応を強化します。

重点指標	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
部門間（営農＋金融）担当者による農家訪問数	戸/年	610	700	700	700

2. 幅広い世代が利用しやすい金融サービスの提供

(1)次世代の事業利用にかかる満足度を高めます。

次世代にJAの魅力を知っていただき、JAとの取引の継続・拡大を図っていくことは重要な取り組みです。このため、既存の利用者向けの特典だけでなく、次世代が利用しやすい特典の充実や、各事業部門と連携した組織活動の充実に取り組みます。

重点指標	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
★ 給与振込等利用者向けのコンビニATM手数料の優遇	—	—	導入	運用・検証	運用・検証
★ 甲賀のゆめ丸ポイント付与基準（住宅ローン・給与振込・こども共済等）の見直し	—	—	実施	運用・検証	運用・検証
事業間連携による次世代（子育て世代）向け活動の展開	回/年	1回	2回	2回	2回

(2)資産形成型金融商品（投資信託・NISA等）の利用サポートを継続します。

重点指標	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
資産形成型金融商品残高	億円	7.5	9	11	13
資産形成型金融商品口座数	口座	778	950	1,100	1,250

(3)金融取引のデジタル化を促進し利便性を向上します。

デジタル化の進展を踏まえ、金融サービスに対するニーズは対面や時間に縛られない取引へと多様化しています。アプリやネットバンクの利用拡大に加えて、窓口取引での伝票記入や押印の手間の削減等、さらなる利便性の向上に取り組みます。

重点指標	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
JAバンクアプリ新規利用者数	人/年	561	500	500	500
JAネットバンク（アプリプラス）新規利用者数	人/年	1,087	800	800	800

3. 利用者の組織活動等の魅力向上

(1)JAこうか元気倶楽部の活動を充実し、倶楽部員の輪を広げます。

地域コミュニティの希薄化といった課題に対して、JAが取り組んでいる様々な組織活動が地域の人のつながりを広げることに貢献することは、地域に根差したJAの社会的役割です。

このため、会員数が1万人を超えるJAこうか元気倶楽部の活動を、より魅力的なものとし、倶楽部員の輪を広げることで人と人とのつながりづくりに取り組みます。地区別の小グループ活動の展開、会員特典の充実、元気倶楽部だより等のデジタル化による情報発信の強化等に取り組みます。

重点指標	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
★ 地区別小グループ活動の展開（全6地区）	回/年	—	30	30	30
★ 元気倶楽部員（年金受給者）向けのコンビニATM手数料の優遇	—	—	導入	運用・検証	運用・検証
★ 元気倶楽部だよりのデジタル配信	—	—	企画・配信開始	運用・検証	運用・検証
年金受取口座の新規指定件数	件/年	868	830	830	830

Ⅲ. 元気なJAづくり

JAが持続的に発展していくためには、組合員の皆さまにJAの魅力をより深く知っていただき、JAファンとして継続的に利用と参画をいただくとともに、新たなファン層を拡大していくことが重要です。

JAの教育文化活動の目的は、協同組合としての基本理念や農業・農産物の魅力発信を通じたJAファンづくりにあります。第17次3カ年では、**教育文化活動を通じたJAファンづくりをさらに加速**させていくため、令和7年度の「家の光文化賞」の受賞を契機として、**新たな組合員組織活動の展開や、組織活動への参加促進**に取り組みます。



また、労働人口の減少が見込まれる中、多様な人材が活躍できる働きやすい職場づくりを進めていくことが必要です。**職員の働きがい**を向上する**取り組みや業務の効率化**を通して、安定した経営を維持します。

1. JAファンづくりと組合員のメンバーシップ強化

(1)プレミアム組合員倶楽部（仮称）の新設により、組合員加入を促進します。

プレミアム組合員倶楽部は「組合員で良かった」をテーマに、組合員であることの良さを認識いただく機会づくりを主な活動とする組織です。教育文化事業部と各事業部門が連携し、組合員を対象にJAと地域農業や農産物の魅力発信、各種教室や体験学習会、商品モニター等の様々な活動を展開します。こうした活動の魅力を発信することで、将来、JAの組合員に加入いただく方を拡大していくことを目指します。

	重点指標	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
★	プレミアム組合員倶楽部の設置	—	—	募集・設置	運用・検証	運用・検証
	新規組合員加入者数 (うち女性正組合員加入者数)	人/年	690 (30)	600 (50)	600 (50)	600 (50)
★	複数事業利用(※5)に向けた 情報提供	—	—	制度設計・指標設定	運用・検証	運用・検証

(※5) 複数事業利用の取り組みとは、JAこうかの組織活動へ参加いただくことで様々な事業内容を知っていただき、JAの事業を幅広くご利用いただけるよう情報提供していくことです。

(2)地域に密着した広報活動を強化し、JAファンの拡大に取り組みます。

JAのファンづくりや組合員加入の促進に向けては、JAの活動をより知っていただくための広報活動は重要な取り組みです。特に次世代に向けた取り組みを強化するため、JAグループの子供向け雑誌「ちゃぐりん」を活用した読書感想文の取り組みや、SNS（公式Instagramの開設、YouTube動画配信等）を活用した情報発信力の強化、新規に加入いただいた組合員を対象にしたイベントや研修会等の開催など広報活動の強化に取り組みます。

	重点指標	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
★	事業連携による組合員感謝デーの 設置	回/年	—	8	12	12
★	ホームページでの組合員募集フォー ム等の開設	—	—	企画・開設	運用・検証	運用・検証
	「ちゃぐりん」読書感想文応募数	編	263	260	260	260
★	公式Instagramの開設	—	—	企画・開設	運用・検証	運用・検証

2. デジタル化の促進による利用者の利便性向上

(1)組織活動への参加促進や事業利用の拡大に向けて、甲賀のゆめ丸ポイント制度(※6)をリニューアルします。

新しいスマートフォンアプリによるカードレスのポイントシステムを導入し、組織活動参加時や来店時などの様々な場面でポイントを実感いただけるよう、ポイント制度のリニューアルを行います。

	重点指標	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
★	甲賀のゆめ丸ポイントアプリ登録 者数	人	—	3,000	10,000	20,000

(※6) 甲賀のゆめ丸ポイント制度はJAこうかの様々な事業をご利用いただくことでポイントを貯め、直売所「花野果市・ここびあ」でのお買い物でポイントをご利用いただけるサービスです。

(2)請求書や農業所得の電子申告に向けた提供資料等のデジタル化を促進します。

購買請求書や販売精算書などの各種帳票や、申告に必要な農業収支計算資料等をPDFやデータで提供できるJAグループ滋賀のWebサイト「FarmingPress（ファーマングプレス）」の利用を促進します。

重点指標	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
「FarmingPress」登録者数	人	511	800	1,100	1,500

3. 働きがいの向上への取り組み強化

(1) 職員の心身の健康や社会的な充実感を大切にし、誰もが働きやすい職場づくりを推進します。

職員にとってより魅力ある働きやすい職場づくりに向けて、職員提案制度の構築と提案に対する表彰制度を見直します。また、職員が今まで以上に地域から信頼され満足される「キラリと光るJAこうかの職員」になるため、現在の職員マニュアル「レインボーロード7つの原点(※7)」の内容充実に向けた更新に取り組みます。

	重点指標	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
★	職員提案制度の構築	—	—	制度構築	運用・検証	運用・検証
★	職員マニュアルの更新	—	—	企画	更新・運用開始	運用・検証

(※7) 「レインボーロード7つの原点(職員マニュアル)」とは、「キラリと光るJAこうかの職員」になるため、“気持ちの良いあいさつ”“まわりの声を感じよう”等、7つの項目を実践する職員マニュアルです。

(2) 人権意識の高揚とコンプライアンス態勢の徹底に取り組みます。

職場別の人権研修会やコンプライアンスプログラム(計画)に基づく研修会等に継続的に取り組みます。また、ヒヤリ・ハット・キガカリ報告等に基づく安全衛生管理として、安全衛生委員会の開催や、事務改善にかかる取組報告等による事務改善機能の向上に取り組みます。

	重点指標	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	職場内コンプライアンス研修会の実施	—	全部署	全部署	全部署	全部署

事業取り扱い高計画

(単位：千円、%)

項目	令和7年度 実績	第17次3ヵ年計画			R10/R7	
		令和8年度	令和9年度	令和10年度		
営農経済事業	購買品取扱高	1,478,502	1,404,400	1,420,500	1,436,500	97.2
	生産資材供給高	814,588	782,000	788,000	794,000	97.5
	生活資材供給高	329,593	268,000	271,000	274,000	83.1
	花野果市供給高	334,321	354,400	361,500	368,500	110.2
	販売品取扱高	3,590,765	3,982,930	3,660,800	3,675,900	102.4
	米穀販売高	1,891,198	2,348,050	2,010,400	2,010,400	106.3
	園芸販売高	110,514	104,750	107,200	109,600	99.2
	茶販売高	247,800	225,680	226,000	226,000	91.2
	畜産販売高	638,184	590,000	590,000	590,000	92.4
	花野果市販売高	703,069	714,450	727,200	739,900	105.2
葬祭利用高	302,312	317,480	319,100	326,500	108.0	
金融事業	貯金	179,866,214	181,000,000	182,200,000	183,500,000	102.0
	貸出金	29,334,583	30,400,000	31,500,000	32,500,000	110.8
	預金	124,681,880	125,000,000	125,000,000	125,000,000	100.3
	有価証券	20,500,464	25,500,000	25,700,000	26,000,000	126.8
	長期共済新契約ポイント	6,061,106	5,300,000	5,400,000	5,500,000	90.7
	長期共済保有高	378,196,180	360,000,000	345,000,000	330,000,000	87.3
	短期共済受入掛金	1,033,714	1,030,000	1,040,000	1,050,000	101.6

総合損益計画

(単位：千円、%)

項 目	令和7年度 実績	第17次3ヵ年計画			R10/R7
		令和8年度	令和9年度	令和10年度	
1. 事業総利益	2,995,442	3,009,800	2,986,200	2,999,700	100.1
(1) 信用事業総利益	1,156,848	1,189,900	1,202,500	1,212,500	104.8
(2) 共済事業総利益	805,101	748,420	739,200	729,300	90.6
(3) 購買事業総利益	251,692	256,540	263,800	267,800	106.4
(4) 販売事業総利益	358,824	362,710	323,700	327,100	91.2
(5) 保管事業総利益	142	△ 620	△ 600	△ 600	△ 422.5
(6) 加工事業総利益	16,639	17,330	17,500	17,800	107.0
(7) 利用事業総利益	382,965	415,920	419,600	425,300	111.1
(8) 宅地等供給事業総利益	32,966	34,000	34,000	34,000	103.1
(9) その他事業総利益	1,741	1,640	1,700	1,700	97.6
(10) 指導事業収支差額	△ 11,477	△ 16,040	△ 15,200	△ 15,200	67.6
2. 事業管理費	2,874,780	2,968,800	2,946,200	2,928,700	101.9
(1) 人件費	1,826,769	1,901,510	1,900,400	1,900,000	104.0
(2) 業務費	495,566	507,450	496,100	496,800	100.2
(3) 諸税負担金	94,688	92,970	92,700	92,700	97.9
(4) 施設費	436,941	445,080	436,500	418,700	95.8
(5) その他事業管理費	20,816	21,790	20,500	20,500	98.5
事業利益	120,663	41,000	40,000	71,000	58.8
3. 事業外収益	149,520	157,700	157,700	157,700	105.5
4. 事業外費用	29,526	28,700	28,700	28,700	97.2
経常利益	240,656	170,000	169,000	200,000	83.1
5. 特別利益	652,140	—	—	—	—
6. 特別損失	667,863	—	—	—	—
税引前当期利益	224,933	170,000	169,000	200,000	88.9

第16次3カ年計画にかかる自己改革工程表の取り組み結果（令和5年度～令和7年度）

夢のある地域農業づくり

1. 選択制のある米づくりによる近江米の生産振興

(1) マーケット（販売）を起点とした契約栽培米の拡大

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
販売先との契約栽培米の契約数	4件	5件	6件
新たな業務用多収品種の作付け	にじのきらめき 6.3ha	ZR1の検証	新たな品種の検証

※ZR1とは極早生と早生の間でもちに強く倒伏耐性のある多収品種です。

(2) 環境に配慮した付加価値のある米づくり

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
有機・減農薬栽培米栽培面積	きらみずき1.9ha	きらみずき8.5ha	きらみずき16.7ha
特別栽培米・環境こだわり米作付面積	828.1ha	768ha	826ha

(3) 品質向上に向けた取り組み

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
高温耐性品種（みずかがみ・きぬむすめ・にじのきらめき）作付面積	782.4ha	741ha	821.1ha
有機米等の食味基準の設定	検討	基準値設定	継続

2. 新たなこうか型園芸産地づくりによる甲賀の野菜・果樹・花卉の生産振興

(1) 重点品目野菜・果樹・花卉の生産拡大

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
白葱・玉葱・キャベツの作付面積	23.5ha	25.9ha	25.6ha
葡萄・梨・いちじくの生産者数	53戸	56戸	54戸
菊・リンドウ・ユウカリの生産者数	46戸	43戸	45戸
スナップエンドウの推進	検討	16戸・13.8a	36戸・40.4a

(2) 伝統野菜の継承と販売促進

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
伝統野菜生産者協議会等の組織化	検討	設置（甲南）	普及活動実施
伝統野菜ブランドブック等宣伝広告資材の作成	杉谷とうがらし 作成準備	水口かんぴょう レシピ集作成	販売促進
伝統野菜契約販売先数	新規1件	新規3件	新規3件
水口かんぴょうの生産者数	G I登録・認定	生産振興・P R (16人)	生産振興・P R (16人・1集落)
杉谷とうがらしのG I登録	検討	申請準備	申請準備

(3) 地産地消と食農教育の促進

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学校給食用農産物生産者の専門部会設置	検討	設置	学校給食用野菜の推進 (じゃがいも0.6ha・人参2.2ha)
花野果市出荷者説明会の開催	年24回	年24回	年24回
花野果倶楽部新規部員数	新規45人	新規31人	新規37人
直売所モニターによる店舗診断の実施	年2回	年2回	年2回
L I N E 会員の募集イベントの実施	年2回	年2回	年2回

L I N E会員への定期情報発信	配信開始	週次発信	継続 (50回)
小学生等を対象とした園芸教室の開催	年4回	小学生 年6回 一般 年2回	小学生 年6回 一般 年2回

3. 需要の変化に対応した近江の茶の振興

(1) 近江の茶の産地化の促進

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
荒茶成分分析点数	年161点	年179点	年157点
土壌診断分析数	年67件	年71件	年69件
茶園改植面積	年2.03ha	年4.5ha	年3.1ha

(2) 需要の変化に対応した茶の生産・販売と加工品等の普及

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
有機栽培茶の取組農家数	12戸	16戸	20戸
「土山一晩ほうじ」の原料茶生産農家数	10戸	7戸	8戸
「土山一晩ほうじ」の新規契約販売先数	新規3件	新規3件	新規2件
「近江の茶」カートカン等加工品の新規取引先数	新規5件	新規5件	新規8件
全農と連携した茶輸出の取り組み	市場調査	全農インターナショナルを通じて海外の日系企業へ提案	全農インターナショナルとの連携を継続

4. 畜産クラスター事業の活用による畜産経営の支援

(1) 畜産クラスター事業の活用支援の継続

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
省力化施設・機械等の導入支援数	年2件	年2件	導入なし
自給飼料(稲WC S)の作付面積	42.2ha	45.9ha	43.5ha
自給飼料(飼料用トウモロコシ)の作付面積	27.6ha	21.6ha	18.5ha

5. 担い手づくりに向けた取り組みの強化

(1) 持続可能な地域農業の実現に向けた農業サービス事業者等の具体化

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
農業サービス事業者の検討	プロジェクト設置	プロジェクトによる検討(生産者アンケート等)	事業方向性(骨子素案)作成

(2) 次世代担い手の組織活動の充実

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域営農組織次世代部会の部会員数	42名	50名	48名
地域営農組織次世代部会活動の充実	—	研修会2回 部会だより発行2回 世話役会議2回	研修会2回 部会だより発行1回 世話役会議2回

(3) スマート農業の普及

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
農作業省力化技術や機械設備の普及数	年6件	GPS田植機等導入 年16件	年9件
ドローンに対応した資材の普及	実証圃場2件	ティオーレア・バサグランエ7 の効果確認	収量等調査・検証
ドローン防除業務の仲介・委託機能の発揮	植物防疫協会への 仲介	ドローン防除仲介1件 免許取得等の仲介	業者へ委託・仲介 (仲介2件)

(4) 農業の多様化に対応した資材供給

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
環境こだわり米に対応した有機肥料の普及	実証圃場3件	有機ウレアホルム355等 実証圃(土山・甲賀・信楽・湖南)	有機ウレアホルム355等 収穫等調査・検証
業務用米低価格肥料の検証・普及	実証圃場1件	セラコートR・楽すけ等 実証圃(水口・湖南)	業務用低価格資材 収穫等調査・検証
大型規格除草剤の検証・普及	試験圃場31件	40キロ粒剤等の普及 (法人25先・個人19先)	普及・拡大 (法人21先・個人97先)

6. 営農関連施設の運用改善

(1) 老朽化が進む営農関連施設の改修や運用改善

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
広域育苗施設の再編整備	企画・既施設整備	事業計画書等提出	新施設の稼働
広域配送センターの整備	検討	整備計画の設定	新施設の稼働
乾燥調製施設の荷受事務等の効率化	検討	検討	整備計画の設置

心豊かで安心して暮らせる地域づくり

1. ライフステージに合わせた金融サービスの提供

(1) 若年世代から年金受給世代まで組合員のライフステージに合わせた金融サービスの充実

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
JAネットバンク新規契約数	年467件	年577件	年1,087件
JAバンクアプリ新規登録数	年538件	年664件	年561件
LINEによる金融情報の発信	配信開始	継続(年4回)	継続(年5回)
保障点検活動「あんしんチェック」実施数	年9,667件	年10,077件	年9,400件
災害に備えた建物の保障点検活動(アンケート実施数)	—	—	年3,493件
寄り添う活動(新規訪問活動)の実施	年2,850件	年3,115件	年3,185件
WEBマイページ新規登録数	年1,093件	年1,150件	年1,479件
自動車ローン新規実行額	3億7,816万円	5億2,853万円	4億7,269万円
自動車共済新規契約数	年1,313件	年1,247件	年1,239件
住宅ローン事前審査数	年225件	年245件	年217件
住宅ローン利用者へのプラスワン訪問活動数	年153件	年160件	年170件
定期貯金と投資信託のセット商品の販売	発表	継続販売 (契約数78件)	継続販売 (契約数22件)
iDeCo申込数	年44件	年40件	年37件
資産形成型商品(投資信託等)残高・口座数	4億727万円 446口座	5億1,563万円 648口座	7億4,833万円 778口座
相続対応強化に向けた相続相談員研修の参加者数	年7人	年7人	年7人
次世代に向けたアンパンマン交通安全教室の開催	年1回	年1回	年1回
次世代に向けたファミリーング(家族の輪)教室の開催	未実施	年2回	年2回

※ファミリーング教室とは、子育て等に関する勉強会のことです。

2. 利便性の向上に向けた窓口のDX化と相続等相談機能の強化

(1) 利便性の向上と窓口処理の迅速化に向けた「営業店システム」の導入

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
全支所への営業店システムの導入	導入計画策定	設備導入	次期稼働 (伝票レス等)

(2) 営業店システム導入とあわせた相続等の相談機能の強化

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
相続セミナーや資産形成セミナーの開催	未実施	年1回	年1回
相続資産のマネーアドバイス活動の相談数	年241件	年273件	年310件
相続相談予約窓口の設置	設置	継続設置	継続設置

3. 金融仲介機能の発揮に向けた専門性の強化

(1) 農業関連の資金需要への対応強化

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
農業関連資金新規実行額	1億8,570万円	3億2,644万円	3億5,944万円
営農指導員と融資相談員の担い手訪問数	年間延べ609件	年間延べ605件	年間延べ610件
農業経営コンサル実施数	年3件	年4件	年4件

(2) 専門性の高い相談機能の発揮に向けた人材育成

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人材育成に向けた研修会の開催	相続 年6回 年金 年5回 融資 年4回 資産形成 年5回	相続 年3回 年金 年6回 融資 年5回 資産形成 年7回	相続 年3回 年金 年6回 融資 年5回 資産形成 年5回
年金新規振込数	年1,043件	年808件	年868件

(3) 組合員の賠償事故や傷害事故等への備えの強化

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
農業者賠償責任共済「ファーマスト」の法人契約数	年6件	年11件	年13件
標準傷害保険「JA安心倶楽部」の新規契約数	年275件	年257件	年110件

4. 組合員メリットの拡充と利用者組織の魅力向上

(1) 組合員の利用メリットの拡大

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
組合員加入特典（ポイント基準等）の設定	加入特典の設定	加入特典（商品券等）の設定	新企画定期貯金の発売
組合員金利優遇商品の発売	住宅ローン等優遇商品発売	合併30周年記念貯金の発売	新企画定期貯金の販売

(2) JAこうか元気倶楽部活動の魅力向上

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総合事業を活かした元気倶楽部活動の充実	実施	元気倶楽部定期貯金の充実	元気倶楽部だよりの発行等
地区別の健康づくりや交通安全活動の実施	各地区1回以上	各地区2回	各地区2回以上

5. 環境変化に対応した生活関連サービスの提供

(1) 葬儀形態の変化に対応した葬祭サービスの提供

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
小規模葬に対応したJAホールプランの利用数	年146件	年120件	年106件
低価な寺院葬・親族葬プランの新設	取扱開始	継続	継続

(2) 空き家・空き地管理とリフォームサービスの取り組み

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
空き家・空き地の巡回管理サービス実施数	年31件	年35件	年40件
空き家仲介や関連会社と連携したリフォームサービスの実施	甲賀協同ガス(株)と連携	リフォームサービス年5件	リフォームサービス年2件

元気なJAづくり

1. 接点活動の充実による組合員のメンバーシップ強化

(1) JAくらしの活動（本所活動・地区ふれあい委員会活動）の充実

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地区別くらしの活動の実施	6地区実施	6地区実施	6地区実施
食農教育活動の実施	農業体験2回 料理教室1回	農業体験4回 料理教室1回	農業体験2回 料理教室1回
地区だよりの発行	年4回	年4回	年4回
JA健康寿命100歳プロジェクト（健康教室・ウォーキング）の実施	年7回	年7回	年5回
JAくらしの活動とJAこうか女性部活動の連携	年5回	年6回	年7回

(2) 組合員との接点活動を通じた情報共有の促進

評価指標	令和6年度計画	令和6年度実績	令和7年度計画
情報提供カードの活用による訪問活動の実施	実施	継続	訪問活動の見直し 検討
総代等に向けた研修・情報提供活動の実施	実施	実施	実施検討
新規加入組合員や准組合員を中心とした懇談会活動の実施	検証	実施（2回）	実施（1回）

2. JAファンの拡大

(1) SNSやメディアを活用したJAの情報発信の強化

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
L I N E 会員累計登録者数	2,135人	3,300人	5,762人
広報紙「こうか」のL I N E 配信	検討	検討	配信開始
新たなコミュニティ誌の製作・発信	制作	継続発信	継続発信
情報番組「農のすすめ」の製作	年4回	年4回	年4回
窓口用P R動画の製作	製作・発信1回	製作・発信	製作・発信

(2) 甲賀のゆめ丸ポイント制度の魅力向上

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
甲賀のゆめ丸ポイント会員数	28,082人	29,268人	30,178人
組織活動参加者や組合員向け特典の設定	検討・設定	組合員加入特典等の 継続	組織活動参加ポイント等の検討
組合員新規加入者数	年595人	年743人	年690人

3. 環境に配慮した取り組みの推進

(1) タブレット端末の導入によるペーパーレス化の促進

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
Wi-Fi環境の整備と紙媒体の削減	階段的整備	ペーパーレス会議の導入	紙媒体20%削減

(2) 施設や公用車のCO₂削減対応

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
公用車等の電気自動車への更新	検討・計画	1台更新	1台更新
省エネ設備（LED等）への更新	実施	更新	継続

4. 健全で強固な経営基盤の確立

(1) デジタル技術等を活用した事業改革の促進

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
D X化の促進（資材予約申込書等のOCR・RPA化）	OCR・RAPの試行	導入（資材予約申込書）	運用継続 請求書のWeb化推進（職員）

※OCRは光学式文字読取機器、RPAは手入力等の作業を自動化することです。

(2) 子会社・関連会社との事業連携の強化

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
子会社・関連会社代表役員会等の開催	年4回	年2回	年4回

(3) 人材育成と人権意識の高揚の取り組み

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
管理監督職・中堅職研修の実施	実施	実施	実施
初級職研修「かふか塾」の実施	実施	実施	実施
部署別人権研修の実施	長時間研修2回 短時間研修12回	長時間研修2回 短時間研修12回	長時間研修2回 短時間研修12回
働きやすい職場づくり研修の実施	年4回	年4回	年4回
メンタルヘルス（セルフケア・ラインケア）研修の実施	年1回	年1回	年1回
職場内メンタルヘルス通信の発行	年12回	年12回	年12回

(4) コンプライアンス意識の向上に向けた職場内研修の継続

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
部署別コンプライアンス研修の実施	年4回	年4回	年4回

(5) 計画経営の徹底による自己資本の充実

評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収支シミュレーションによる計画経営と進捗管理の徹底	シミュレーション更新	シミュレーション更新	シミュレーション更新